

Information

中央区役所からのおしらせ

熊本中央区
地域コミュニティづくり
支援事業の事例紹介

一新校区 2町内元気サロン



一新校区第2町内自治会では、日曜日毎月1回、町内にあるパン屋さん（レストラン）のご協力で映画鑑賞会を開催しています。この映画鑑賞会は、町内の身近な場所で開催することによって、ご近所からたくさんの人が参加し、お互い顔が見える関係を築こうと、おしゃべりを楽しむサロンからはじめました。そして、せっかく集まるならもっと面白いことをしたいということで、熊本中央区地域コミュニティづくり支援事業の補助金を活用してプロジェクトなどを購入し、今年の1月からサロンで映画を鑑賞することになりました。

映画は、主催している第2町内自治会長の古瀬さんが選定されているそうで、5月の開催は、昭和25年～30年頃の映画を2本上映しました。参加者の皆さんの中には、青春時代の映画で、お菓子を食べながら皆で鑑賞会を楽しんでいました。

古瀬さんによると、サロンには、毎回15人程度参加しているそうで、これまでの開催をとおして、お互いの情報や健康状態を把握できるというメリットなど新たな発見もあったそうです。

熊本中央区地域コミュニティづくり支援事業の申請は、平成27年度は締め切りました。詳細については中央区役所まちづくり推進課（096-328-2614）にお尋ねください。

夏の思い出

3年前の夏、私は、公園のテントで1ヶ月間勤務をしました。平成24年7月11日に発生した九州北部豪雨災害の被災地、龍田陳内地区に設けられた現地本部で復旧業務にあたるためです。

約150棟の家屋が倒壊や浸水するなどし、長年住み慣れた家が流され困窮する人、浸水した家の片付けに追われる人、また、新築間もない家が被害にあった人もいました。

復旧に当たる住民や多くのボランティアの方が暑い夏の日差しに苦しまれ、私も、食料や飲料水、生活用品の手配とともに、熱中症予防のための「塩飴」を確保するため、市内各所を探し回ったことが印象に残っています。夏になると、汗びっしょりになり遊んだ子供のころと同時に、3年前、数十年ぶりに体中に汗もができるつらい中、被災者の不安、復旧作業の厳しさを目の当たりにした1ヶ月間を思い出します。改めて、被災者のご苦労と自然災害の怖さを思い出します。

ひと・まち わくわく中



中央区長 菅野

発行・お問合せ 熊本中央区役所総務企画課

〒860-8618 熊本中央区手取本町1番1号
Tel. 096-328-2555(代表) [総務企画課 Tel. 096-328-2610]

熊本市 中央区役所

中央区役所公式フェイスブックページをやっています。

熊本中央区役所
公式 facebook



◆配付に関するお問合せ／(株)産交ミック 熊本支店 0120-00-3539 [午前8時～午後8時(土・日・祝日は除く)]

新たな出会いと未来創造の都会～つながる、中央区。～

中央区だより

vol.05

2015.JULY

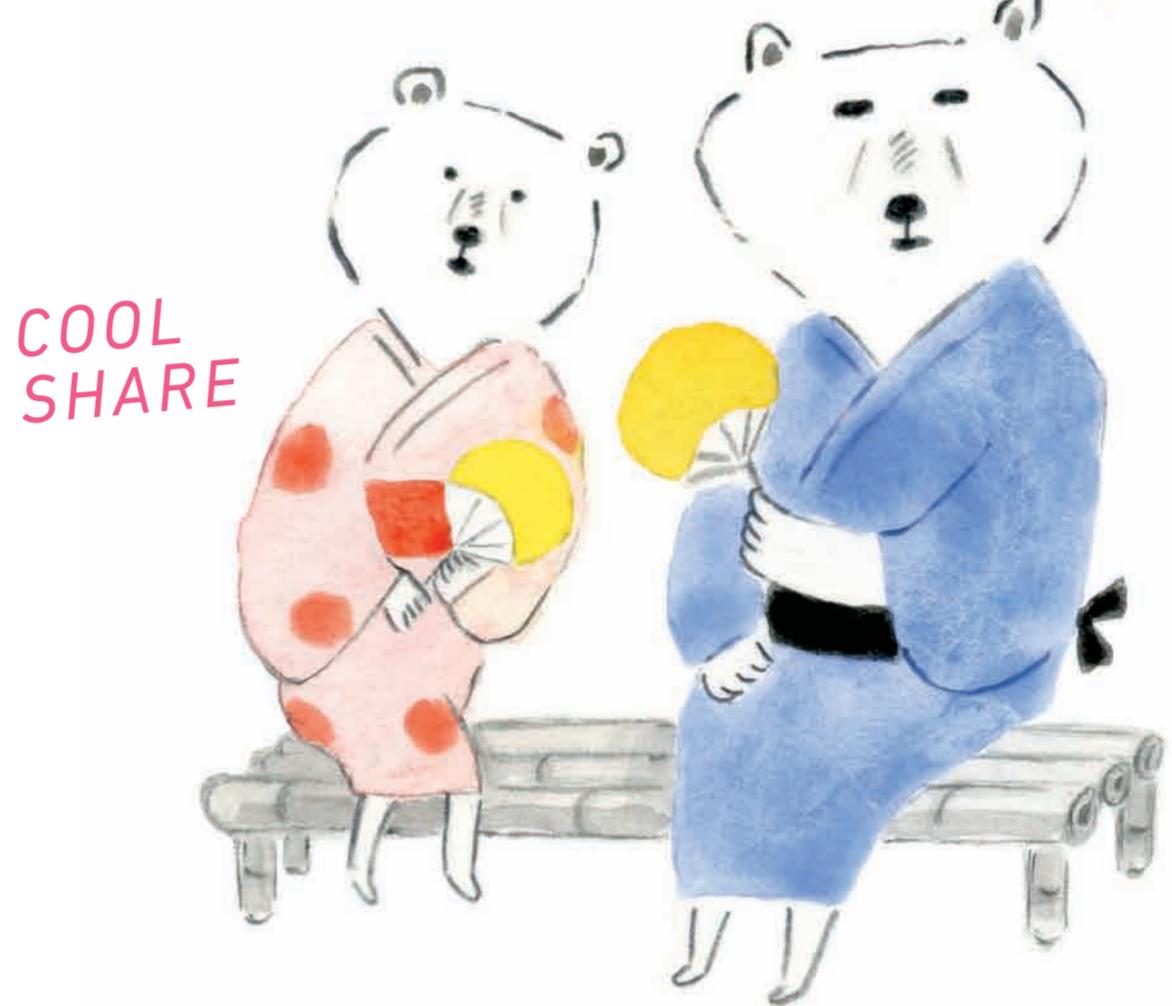
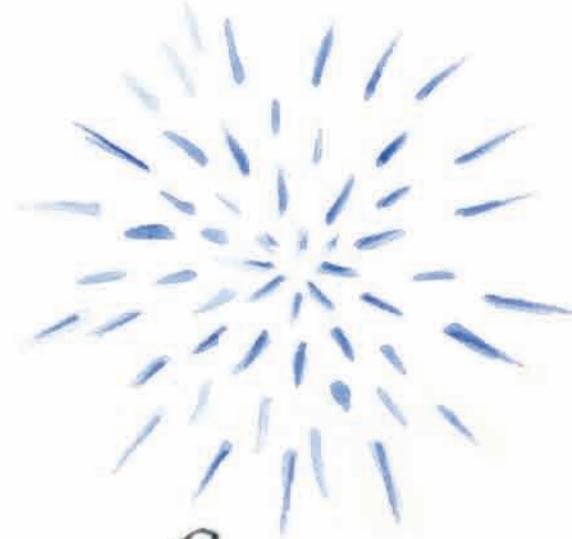
平成27年7月発行

特集 中央区の夏

エアコンを消して涼しいところに集まろう！

地域のおまつり／公民館夏情報

防犯対策 できることから！



他人事ではありません!!! 防犯対策 できることから!

高齢者、女性や子どもなど弱者を狙う身近な犯罪が増えています。

犯罪に巻き込まれないように、まずは情報収集が大切です。

次のような犯罪に注意してください。



高齢者を狙う特殊詐欺

熊本県内での高齢者を狙った
巧妙な手口の詐欺「特殊詐欺(オレオレ詐欺など)」の
被害が後を絶ちません。

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺き、指定した預貯金口座への振込みなどにより、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪(現金等を脅し取る恐喝も含む。)の総称です。その代表的なものが振り込め詐欺(オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金等詐欺)で、手口は巧妙になっており、県内の被害件数は大幅に増加しています。

巧妙な手口

ケース 01

被害者方に息子と名乗る男から電話があり、「職場の経理の人と会社の金を使って株を買ったことがバレてしまった。今、弁護士の所に来ている。お金を用意できないか。」と言われた。お金を出さないと息子が会社をクビになると信じ込み、犯人が受取場所として指定した被害者方駅付近で、現金1000万円を手渡し騙し取られた。

ケース 02

被害者方に熊本県役所の保険担当と名乗る男から電話があり、「医療費の返還があるので、3月31日まで窓口に来られなかったので、銀行に振り込みます。後で、銀行から電話があるので電話に出てください。」と言われ、指定されたATMへ行った。そこで、犯人から携帯電話に電話があり、指示に従いATMを操作したところ、被害者の口座から犯人の口座へ150万円余りが振り込まれ騙し取られた。

被害にあわないために

- 自分は大丈夫という考え方を捨て、誰かに相談しましょう。
- または、警察に連絡しましょう。
- おいしい話は、そんなに転がっていないということを認識しましょう。

知つ★得 預手プラン

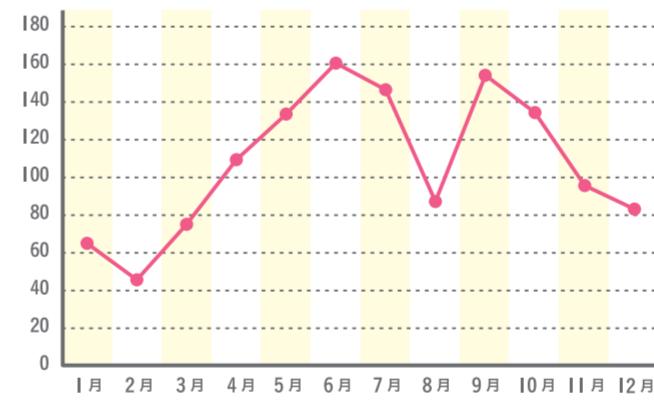
「預手プラン」とは、金融機関の窓口で、高齢者が高額の現金を引き出そうとする際に、預金小切手の利用を勧め、応じられない場合や不審な場合は、警察に連絡するという仕組みです。この金融機関と警察の協力による取り組みで、高齢者の被害を防いでいます。



意外に身近な犯罪

女性や子どもが犯罪に巻き込まれないために

平成26年のわいせつ等事案被害・相談件数



熊本県内のわいせつ等事案被害・相談件数は、平成26年1351件(平成25年1235件)と増加傾向です。特に、服装が軽装になる夏は女性や子どもを狙った性犯罪も増えてきます。意外に身近なところでおこる犯罪に巻き込まれないように自分でできる対策を取りましょう！

犯罪に巻き込まれないように！

- 明るく人通りの多い道を選びましょう！犯人は人のつくところが嫌いです
- 隙をつくらないようにしましょう！携帯電話の操作や音楽を聴きながら歩くのをやめましょう
- 下着は目に付かないところに干しましょう！一人暮らしの女性など犯人に狙われないように
- 戸締りを確実にしましょう！子どもが一人で留守番のときに被害にあうことなく情報を収集しましょう！ゆっぴー安心メールの登録



不審な人を目撃したり、チカンやストーカー被害に遭ったときは、一人で悩まないで最寄の交番や警察署に相談してください。

連絡先 熊本県北警察署

電話 096-323-0110

INTERVIEW

みんなが安心して集まれる明るい 中心市街地を目指して



熊本市防犯モデル地区推進委員会は、昭和40年9月に、新宿や札幌市の繁華街とともに全国防犯協会連合会の指定をうけ、「新市街モデル地区」の名称で発足しました。昭和43年4月に現在の名称に変更し、今年で創立50周年を迎える全国でも最も活動期間の長い防犯モデル地区推進委員会です。

委員会のメンバーは、商店街や地域の方。主な活動は、北署、地元小・中学校の先生、市役所・区役所と共に毎月実施する中心市街地のパトロールなどです。

これまで継続できたのは、地元の企業や商店等からの協賛金などの協力と、委員会がその時代に応じ内容を変えて活動してきたところによるところ。

「私たちが50年も活動を続けて来られたのは、まちが抱える様々な問題に真剣に向き合って来たからでしょう。現在、パトロールが中心の活動ですが、小学校への防犯ブザーの寄贈や迷惑防止条例の請願、危険ドッグ被害防止のキャンペーンも行っています。地道な活動がようやく認知していただけるようになりました。」と語るのは、委員会の代表の木崎会長。「中心商店街に安心して来てもらいたい、活気ある街にしてみたい。そのため自分達の街は自分達で守る。そんな気持ちでこれからも、60年、100年と続けていきたいと思います。」会長の笑顔は、どこか父のような頼もしささえ感じられました。